

ジョリフォレの演奏を聴いてジャズの道へ♪



楽団四季 Jolly forest Jazz orchestra
(ジョリー フォレスト ジャズ オーケストラ)

こばなわ ゆういち
小 堀 裕 一 さん

「23日のステージは是非
見に来て楽しんでください」と
笑顔で語る小堀さん。

みの〜れと共に生活するスタイル
Minole Life
のすすめ No.112

水田や畑で見かける清楚で真っ白な秋ソバの花。秋そばは風味がよく、色調も優れているそうです。また、山茶花の垣根に一つ、二つと白やピンクの花が咲きはじめ、秋の深まりを感じるようになりましたね。秋の夜長は・本を読んだり、音楽を聴いたり楽しい時間を過ごしましょう。今回は、みの〜れ住民楽団ジョリーフォレストジャズオーケストラのメンバーで小美玉市小川地区にお住いの小堀裕一さんを取材します。

『音楽に

大事なことは 正直さだ！』

小堀さんは、2年前にみの〜れで上映された「雨に唄えば」を観に来た時に、上映前にジョリーフォレストジャズオーケストラ(以下ジョリフォレ)の演奏があり、その時初めてジャズの演奏を聴いたそうです。ジーンケリーのタップダンスと、ジョリフォレの演奏の素晴らしさに「タップを取るか？楽器を取るか？迷って楽器を取ったのです」と小堀さん。

「ジョリフォレの演奏を聴いて優しそうな雰囲気良かったんですね。だから、入ってみようと思えました。ただ、僕は何の楽器も出来ない0の状態だったので、空きがあったらどの楽器でも挑戦してみようと思ひ、ちょうどその時期にベースに空きが出たのでベースに決めました。現在、エレキベースが主でウッドベースは練習中です」と話す小堀さん。左利きなのでなかなか専用の楽器がなかなか東京にある専門店で購入

をするそうです。

ジョリフォレに出会うまで一度も楽器を触ったことがなかったという小堀さんは、2年前の夏頃に入団してその年の秋にはみの〜れでも大きなイベントのひとつ、ビッグバンドジャズフェスティバルのステージに立ったといいます。「まるでシンテラストーリーのようでした(笑)。頭が真っ白になりましたよ。ジャズの楽譜って買って広げた時に真っ白なんです。その楽譜に音楽を聴いてコードを自分で書いていくんです。ジャズに触れるのは初めてだったのでメンバーの皆さんがCDを貸してくれたり本当に助けてもらいました。いよいよ本番、『音楽に大事なことは正直さだ！』という有名な言葉があって『間違いを恐れずに弾こう！』と僕も演奏したら思い切り間違えましたね(笑)」。と楽しそうに思い出を語る小堀さん。

「まるっきり楽器が出来なくても教室に習いに行っていたらこんな風に続かなかったと思います。楽譜の読み方とか、音量のメリハリのつけ方とかメンバーからその場でアドバイスをもらえるん

です。それも僕の成長スピードに合わせて、その時期に合ったアドバイスをしてくれるんですよ。皆さん実力のある方々なので本当にありがたいです。これまでは人に迷惑をかけないで生きていこうと思っていたのですが今はむしろ、人にもっと頼ってほしいのかなと考えるようになってきました。だって、お願いしなくても、進んで自分の大切なCDを山ほど貸してくれる人なんてなかなかないですから。『無償の愛』という言葉そのものだなと思ひました」とジョリフォレの素晴らしさを語ってくれました。

10月23日(日)に、みの〜れで『いばらきビッグバンドジャズフェスティバル』が開催されます。小学生から社会人までの幅広い世代の参加があり、一日中ジャズに触れることができます。ジャズというひとつのものに打ち込んできた姿を是非見て楽しんでほしいと思います」と小堀さんは話してくれました。

(藤田佐知子)